

PCSA アクションレポート（理事会）

平成 29 年 11 月版

11 月通常理事会

開催日時 平成 29 年 11 月 16 日（木） 午正午 12 時～午後 1 時 30 分

開催場所 PCSA 会議室

出席者 理事 11 名、幹部 4 名、合計 15 名

<代表理事>

加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長

<副代表理事>

大石 明德 株式会社ニラク 取締役

合田 康広 株式会社合田観光商事 常務取締役

金本 朝樹 株式会社アメニティーズ 代表取締役社長（アメニティーズグループ）

<理事>

藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役社長

山田 孝志 株式会社 TRY&TRUST 代表取締役社長

石川 直史 株式会社ワールド 代表取締役社長

金光 淳用 株式会社ヒカリシステム 代表取締役社長

河本 成佑 株式会社晋陽 代表取締役社長

福井 宏彰 株式会社ポネール アミューズメント事業部次長（荒俣 伸一理事 代理出席）

<専務理事>

中島 基之 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会

※理事 11 名

<監事>

川辺 悦史 株式会社セルノ 代表取締役社長

宮村 伸輔 JCM システムズ株式会社 法人担当部長

<モデレーター>

佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長

<アドバイザー>

牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表

第 1 号審議議案「不正対策研究部会 サブリーダー交代」審議【承認】

当件につき、事務局より説明があった。不正対策研究部会サブリーダー市川 忍氏の転勤に伴い、研究部会への出席が困難になったことから、新たにサブリーダーを選出したい。後任のサブリーダーにつき、不正対策研究部会で検討の結果、知識の豊富さ、リーダーシップの高さから、株式会社ニラク 法務部コンプライアンス担当 倉沢隆志氏にサブリーダーにご就任いただきたいという結論に達した。倉沢氏と株式会社ニラクには事前にご了解をいただいている。

＜意見＞

・特になし

＜審議＞

加藤：不正対策研究部会 新サブリーダーを倉沢 隆志氏としてよいか？

一同：異議なし。

第 2 号審議議案 「次期役員選考委員会規程 改正」審議【承認】

当件につき、事務局より説明があった。「PCSA 会則規約」に記載されている「役員対象者」と「PCSA 次期役員選考委員会規程」に記載されている「役員対象者」の記載文言を同一にする。

現在、「PCSA 次期役員選考委員会規程」には「役員を対象」と記載されている。それを「PCSA 会則規約」と同様に「役員および役員に準ずるもの」に変更するというもの。こちらの文言は監事選考部分にも反映させる。なお「PCSA 次期役員選考委員会規程」の改正は総会審議による。

「現状の規程」

第七条 役員選考は、会員の役員を対象に行うものとする。

但し、監事選考にあたっては、賛助会員の役員も含むものとする。

「規程の改正案」

第七条 役員選考は、会員企業の役員および役員に準ずるものを対象に行うものとする。

但し、監事選考にあたっては、賛助会員の役員および役員に準ずるものも含むものとする。

＜意見＞

・特になし

＜審議＞

加藤：この内容で「次期役員選考委員会規程 改正」をしてよいか？

一同：異議なし。

加藤：理事会で承認されたので、本日の総会に議案を送る。

第 3 号審議議案 「21 世紀会へ依存対策全体の再構築の提案について」審議【継続審議】

当件につき、事務局より説明があった。10 月拡大理事会での継続審議を受け、依存問題対策について 21 世紀会に提案していく事を検討する事となった。それに伴い、提案文書案を作成した。

具体的に取り組み内容として、「1. 対応すべき項目の整理」「2. 各項目の具体的な内容とかかる費用の概算」「3. 費用負担の割合」を挙げ、それらを 21 世紀会で等しく情報共有、意見交換が出来る仕組みを作るように要望したい。

＜意見＞

・この文書を出していいか？ > 問題ない

・6 団体は 21 世紀会の下部組織か？ > その通り

・何をやるのか、どこがやるのかによって言うべき所が変わる。

・フレームを作るのは大事だが、6 団体のメンバー入るわけでは無いと思う。 > 21 世紀会の枠組みで実施するという事か。 > その通り。

・電話相談も 24 時間対応になると新たに費用が発生する。

・全日の担当理事に聞くと、RCPG への委託は一時的、という考えだとの事。

・業界が何をすべきか法案に関与している国会議員のニュアンスも聞いた方がいいのではないのか。

・ひとつの団体のマターではなく、その上部の 21 世紀会が主導しないと、色々支障が生じる

<審議>

加藤：21 世紀会に文書を出すことについて、ご承認いただけるか？

一同：異議なし。

加藤：文言については、本日の意見を反映させて電子理事会で審議をする。

第 4 号審議議案「PCSA 政治分野アドバイザー 新規就任」審議【承認】

当件につき、事務局より説明があった。新規に 2 名の政治家より政治分野アドバイザーへの就任承諾書が届いた。届いたのは次の 2 名。

- 1) 小倉 将信 自由民主党衆議院議員
 - ・IR 議連、風営法議連所属
 - ・紹介者 秋元 司議員
- 2) 海江田 万里 立憲民主党衆議院議員
 - ・所属議連無し
 - ・紹介者無し

承認いただくと政治分野アドバイザーは 43 名となる。内訳は自由民主党 23 名、日本維新の会 8 名、希望の党 5 名、民進党 4 名、立憲民主党 2 名、未所属 1 名。

<意見>

・海江田先生はアドバイザーでは無かったのか？ > 前々回の選挙で落選されて、今回復帰した。

<審議>

加藤：この 2 名の方を政治分野アドバイザーとして承認するか？

一同：異議なし。

第 5 号報告議案「第 16 期中間決算」報告

当件について、事務局より説明があった。

貸借対照表：資産の部は流動資産が 2243 万 4068 円、固定資産は 836 万円、合計 3079 万 4068 円。負債の部 1041 万 7570 円、純資産の部 2037 万 6498 円で負債及び純資産の合計は 3079 万 4068 円となる。

損益計算書：売上高、会費収入が 2503 万 5000 円、セミナー売上高 1 万 1000 円、合計 2504 万 6000 円。販売費及び一般管理費が 2855 万 6850 円。営業外収益が 3078 円。当期純損失額が 350 万 7760 円。

<意見>

- ・仮受金の中身は？ > 機構負担金を会員から預かったもの
- ・バランスシートは前期との対比で、PL は予算対比でどうしてなったのか分かる様にしてほしい。
- ・1 年後の見通しも教えてほしい。
- * 上記を踏まえて 12 月拡大理事会で改めて報告をする。

第 6 号報告議案「第 16 期第 2 回臨時社員総会・第 62 回経営勉強会」報告

当件について、事務局より説明があった。

本日は 14 時より第 16 期第 2 回臨時社員総会、15 時 30 分より第 62 回経営勉強会が開催される。経営勉強会は第一部「パチンコ・パチスロ遊技障害全国調査 調査報告」、講師：石田 仁様（公益財団法人日

工組社会安全研究財団 主任研究員）。第二部『新しい規則で生まれる遊技機 ～パチンコ／三洋物産編～』講師：風岡 喜久夫様（株式会社三洋物産 開発本部商品開発部 部長）にお願いしている。経営勉強会の参加人数は、正会員 55 名、賛助会員 54 名、アドバイザー・業界誌 17 名、合計 126 名を予定している。

なお、今回の第 2 部のメーカーの講演に当たっては主要全メーカーにお声掛けをしており、三洋物産さんに引き続き藤商事さんからも了解を得た。藤商事さんには 2 月の公開勉強会でご講演をお願いした。それに伴い、一度勉強会の様子を見たいという事で、藤商事さんから 3 名の方が本日参加される。

第 7 号報告議案 「フジサンケイビジネスアイ 加藤代表理事インタビュー記事」報告

当件につき、事務局より説明があった。11 月 17 日にフジサンケイビジネスアイ紙に掲載される。インタビューの内容、下に会員、賛助会員の企業名を掲載している。

<意見>

- ・費用はかかったのか？ > 会員・賛助会員名の掲載で 40 万円かかる。
- ・以前にも同様の試みはあるのか？ > ある。

第 8 号報告議案 「PCSA フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ開催」報告

当件につき、事務局より説明があった。本年 11 月 1 日より「PCSA フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ」の募集を開始した。一番のトピックスは応募資格で、これまで学生対象だったものを入社 3 年以内の正会員・賛助会員の従業員とした。すでに応募要項を正会員・賛助会員の皆様に送っており、本日の総会でも報告をする。

第 9 号報告議案 「団体活動」報告

当件につき、事務局より説明があった。平成 29 年 11 月 13 日に一般社団法人遊技産業健全化推進機構臨時社員総会があった。決議事項は 1 点。平成 29 年度の社員負担額が確定したという事。総額で 4 億 3134 万 3800 円、PCSA からは 557 万 4700 円の拠出となる。

<意見>

- ・支払いは組合、非組で分けているのか？ > 分けている。組合企業は全日から、非組合は 4 団体から払い込んでいる。
- ・21 世紀会と機構の関係は？ > 別物、機構は第三者機関という位置づけ。
- ・どちらが古いのか？ > 21 世紀会
- ・遊技機規制の変化とともにチェック内容も変わっていく。依存問題対策を含め、21 世紀会と機構は一緒にやっていった方がいい。 > 機構は新しい事業に乗り気では無い。
- ・今後、業界が負担しきれなくなってくる。やっていけないのであれば機構と 21 世紀会が一緒になる事も考えざるを得ない。
- ・貯玉補償基金もそうかもしれない。
- ・その件について他団体は反対しないか。 > しないと思う。
- ・機構の役割についても再考すべきかもしれない。

その他

1) 一般社団法人日本遊技産業経営者同友会（同友会）11 月定時理事会 in 名古屋

加藤：先週、同友会の理事会にオブザーバーに参加した。同友会の東野代表から交流を求められた。今度、理事会にオブザーバー参加して頂けたらと思う。ご検討いただきたい。

<意見>

- ・一緒にアクションを起こす機会になると思うのであったほうがいい。
- ・景品、分煙とかが考えられる。
- ・1月はどうか？ > 1月は賀詞交歓会なので12月の方がいい。> ご異議が無ければ12月のご案内をして、同友会の理事数名に御参加いただきたい。

2) 宮村 伸輔監事の会社移動について

宮村：今月末でJCMシステムズ株式会社を退社、12月1日から株式会社エルゴジャパンに入る。今後ともよろしく願いたい。

<意見>

- ・何か必要になるか？ > 規則上は個人に委任しているので、賛助会員に留まるのであれば登記の変更などは不要。
- ・理事会としては継続について承認しておく必要はある。

<審議>

加藤：12月以降も宮村氏に監事を継続いただく事をご承認いただけるか？

一同：異議なし。

次回開催

平成29年12月21日（木）開催

<スケジュール>

午後4時～午後5時

PCSA12月拡大理事会 PCSA 会議室

午後5時～午後5時30分

PCSA・同友会 意見交換会 PCSA 会議室

※ 同友会執行部 参加

午後6時～午後8時

PCSA 忘年会 帝国ホテル 本館3階「鶴の間」

以上